

中2国語科 「3つの見届ける」

単元名 論理をとらえる「モアイは語る－地球の未来」

単元の指導計画

| 第1次 | 第2次 | | | | | 第3次 |
|--|---|--|--|---|---|--|
| 第1時 意見文のテーマを新聞等から探し、自分の立場や考えを明らかにする。 【書く ア】 | 第2時 文章全体の構成を考え、自分の意見文の序論と結論を明らかにする。 【読む ウ】 | 第3時 本論の4つの部分を筆者はなぜこの順序で述べたかを考えてまとめる。 【読む イ】 | 第4時 自分の意見文の「本論」の内容を付箋に書き、その順序と効果について考える。 【読む ウ】 | 第5時 「森林は文明を守る生命線なのである」の根拠を考えるとともに自分の意見文の根拠を整える。 【読む イ】 | 第6時 意見文の主張に説得力をもたせるために使えそうな構成や表現とその理由を考え整理する。 【読む ウ】 | 第7, 8時 根拠となる事実や具体例を示しながら、400字程度で意見文を書く。 【書く ウ】 <テーマ例> ・ノーベル平和賞について ・ゆるキャラで町おこし ・自然災害に対してできること |
| 言語活動：根拠を示しながら意見文を書く | | | | | | |

第6時

ねらい

イースター島と地球を対比させる文章構成や、具体的な数字、強調表現等の工夫を用いて主張に説得力をもたせていることを読み取ることができる。（読むこと ウ）

学習活動

1 これまでに集めた意見文の主張を支える根拠を振り返る。

意見文の主張に説得力をもたせるために、安田さんの文章構成・表現の仕方を学んで整理しよう。

2 説得力を増す文章構成・表現の仕方とその理由を追究する。

・表現の仕方にかかわる工夫（具体的な数字、強調表現等）が分かる部分を見付け、そのような表現をすることで何を伝えたかったかを考え、ノートにまとめる。

・構成にかかわる工夫（イースター島と地球を対比して述べていること）を読み取り、対比することで筆者が何を伝えたかったかを考え、ノートにまとめる。

3 題名に着目し、「イースター島」という言葉ではなく、あえて「モアイは語る」という言葉を入れて題名にした筆者の意図は何か考える。

・文明崩壊の「象徴」として位置付けている。

4 本時の学習のまとめを書く。

強調表現や読者への問いかけ、具体的な数字の提示、イースター島と地球というように対比して述べる文章構成等、意見文に用いることでより読み手に説得力をもたせられそうだ。付箋に書いてきた根拠に表現の工夫を加え、どういう構成で説明すればよいか整理していきたい。

○実態を見届ける（見極める）

○既習の内容の定着を見届ける。

- ・構成の仕方に工夫はできているか。
- ・表現の仕方に工夫はできているか。

○本時の位置（役割）を見極める。

- ・「意見文」の本論に説得力をもたせるために、安田さんの書きぶりから、本時は文章構成や表現の効果について学習することを明らかにする。

○学習状況を見届ける

○文章構成や表現と筆者の意図を関連させて書かれているかを見届ける。

- ・筆者の目的や意図が理解できているか。
- ・文章構成（対比）、表現の仕方（具体的な数字・強調表現等）」に着目して、その効果が考えられているか。

○定着状況を見届ける

○自分の本論づくりと関連させて書くことができたかを見届ける。（7分程度）

- ・「具体的な数字」や「強調する言葉」、「対比」を用いることにより自分の本論の主張に説得力をもたせることができることをまとめの文から確認する。